

報道関係者 各位

(公財)世界宗教者平和会議 (WCRP) 日本委員会

プレスリリース
WCRP日本委員会
岸田首相と面会し、「平和のためのAI倫理」国際会合の実施を報告



8月21日、WCRP日本委員会の代表者4人が首相官邸を訪れ、岸田首相と面会 (©WCRP日本委員会)
左から戸松理事長、杉谷会長、岸田首相、庭野理事、篠原事務局長

世界宗教者平和会議 (WCRP) 日本委員会は8月21日、杉谷義純会長ら代表者4人が東京・千代田区の首相官邸を訪れ、岸田文雄首相と面会し、7月に広島で開催した国際会合「平和のためのAI倫理：ローマからの呼びかけにコミットする世界の宗教」について報告しました。

同会合は7月9、10日、広島の平和記念公園内の会場で、WCRP日本委員会をはじめ教皇庁生命アカデミー、アラブ首長国連邦のアブダビ平和フォーラム、イスラエル諸宗教関係首席ラビ委員会の4団体が共催。13カ国からキリスト教、ユダヤ教、イスラーム、仏教などの宗教指導者をはじめ、学者、研究者、大手ハイテク企業関係者ら150人が参加しました。

会合では、同アカデミーが2020年に発表し、AI (人工知能) に対する倫理的なアプローチの育成を訴えた「AI倫理のためのローマからの呼びかけ」に対して、13の組織 (11つの宗教、2つの大学) から16名が署名したほか、全会一致で「平和のためのAI倫理 広島アピール」を採択。同アピールは、79年前、当時の最先端技術の軍事利用によって大きな悲劇がもたらされた広島という地に集う意義を確認し、AIが人類の平和のために活用されることを呼びかけています。

また、会合に対して岸田首相からビデオメッセージが寄せられたほか、河野太郎デジタル大臣や牧島かれん前デジタル大臣が参加し、あいさつを述べました。

8月21日、岸田首相との会談は、15分程行われました。冒頭、杉谷会長から岸田首相のビデオメッセージや河野大臣の参加など、政府として会合に関心を寄せてくださったことに謝意を表しました。

その上で、同会合が盛会に終わられたことを報告。会合に対するメディアからの注目度が高かったこと

について、A I という問題に向けられた社会的な関心の高さと共に、広島という地で開催した意義がよく理解されたのではないかとの認識を述べました。また、世界的な大手ハイテク企業のマイクロソフトや IBM、Cisco の首脳陣が会合に参加した一方で、国内の企業の参加がなかったことについて、「日本でもこうした動きを広めていかなければならない」との決意を表明しました。

岸田首相からは、今年イタリアで行われた G 7 プーリア・サミットで、ローマ教皇フランシスコの講演に感銘を受けたと話し、「A I の可能性とリスク、さらには人間の本質に関わる深い部分に影響を与えるものであるということ認識し、その重さを感じた」「だからこそ、皆さまにもいろいろと考えていただき、ご指導いただくことは大切だと思う」と述べました。さらに、昨年の G 7 広島サミットで A I に関する国際的なルール作りをリードするべく立ち上げた「広島 A I プロセス」の賛同国が 50 カ国を超えたことを紹介。広島という地はこれまで、核軍縮など「平和」が主なテーマであったが、それに加えて A I の世界でも重要な地になっていると強調しました。その上で、同会合が広島で行われた意義について理解を示し、「A I の議論はまだ始まったばかり。進化も著しく、どれだけ私達の社会に影響を与えるか、わからない部分も多い。ぜひ宗教者の皆さまにも、引き続き今回のような努力を続けていただきたい」と期待を述べました。

それらを受けて、戸松義晴理事長は、会合の中でマイクロソフトのブラッド・スミス社長との出合いを振り返り、同氏から「企業としては、技術の開発を進めていくが、その使い方に関しては、社会全体で考えてほしい。ぜひ宗教者にも一緒に考えていただき、声を上げてほしい」と言われたことについて紹介。A I の問題について「日常生活の中でも檀信徒や門徒、会員の皆さまと話し、その重要性について理解を広めていきたい」と決意を述べました。

また、庭野光祥理事は、人間は「六根（眼、耳、鼻、舌、身、意）」を具えた存在であるとの認識を示した上で、「それを持たない存在としての A I が、身体を持った人間とどのように関わっていくのが大事なテーマ」と強調。今後、日本社会や宗教界において、A I に対する認識や議論が深まっていくことに期待を示しました。

【首相官邸訪問者一覧】（※敬称略）

1. 杉谷義純（WCRP 日本委員会会長・天台宗妙法院門跡門主）
2. 戸松義晴（WCRP 日本委員会理事長・浄土宗心光院住職）
3. 庭野光祥（WCRP 日本委員会理事・立正佼成会次代会長）
4. 篠原祥哲（WCRP 日本委員会事務局長）

※写真データをご入用の方は、広報担当（三善, 上野）までご連絡ください。

世界宗教者平和会議（WCRP）について

WCRP は、1970（昭和 45）年に 39 カ国から諸宗教の代表者約 300 人が集まり、京都で第 1 回大会を開催したのが始まり。諸宗教の連帯によって平和活動を推進する国際組織として、国連経済社会理事会（ECOSOC）の諮問資格を有し、1999（平成 11）年からは NGO の最高資格である総合協議資格を取得しています。世界大会は当初から数年ごとに、欧州、米国、アフリカ、豪州、中東など世界各地で開催。現在、世界 90 カ国以上にネットワークを有し、諸宗教間の対話・協力活動という特徴を生かして紛争和解や軍縮、難民支援、開発援助、環境保護などの平和活動に取り組んでいます。

日本委員会は、1972（昭和 47）年に日本宗教連盟の国際問題委員会を母体として発足し、2012（平成 24）年 4 月より公益財団法人として活動を展開しています。

〔問い合わせ〕（公財）世界宗教者平和会議（WCRP）日本委員会

住所：東京都杉並区和田 2-7-1 普門メディアセンター 3 階

TEL：03-3384-2337、FAX：03-3383-7993

広報：三善（TEL：080-2003-2031 mail：takeo.miyoshi@kosei-kai.or.jp）

上野（TEL：080-2003-2030 mail：m.ueno738@kosei-kai.or.jp）